

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年5月14日(2020.5.14)

【公開番号】特開2018-201636(P2018-201636A)

【公開日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-050

【出願番号】特願2017-107361(P2017-107361)

【国際特許分類】

A 6 1 M 39/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 39/22 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月1日(2020.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

円筒状外側部材と、該円筒状外側部材から径方向外方の第1方向、該第1方向と異なる第2方向並びに該第1方向及び該第2方向に交差する第3方向にそれぞれ突出する第1～第3管とを有する本体と、

外周面が前記円筒状外側部材の内周面に対して間隔を有するように前記円筒状外側部材の内側に配置され、該円筒状外側部材と一方の側の端部同士が固定された円柱状中央部材と、

前記円筒状外側部材と前記円柱状中央部材との空間においてこれらに対して密接しながら周方向に回転し得るように配置された円筒状回転部材、及び該円筒状回転部材を回転させるためのハンドルを有する回転部と備え、

前記第1～第3管は、前記円筒状外側部材に形成された第1～第3開口部をそれぞれ経由して前記円筒状外側部材の内周面に開口しており、

前記円柱状中央部材は、前記第1開口部及び前記第3開口部にそれぞれ対峙する位置に第1流路端部及び第2流路端部を有する第1内部流路と、前記第3開口部及び前記第2開口部にそれぞれ対峙する位置に第3流路端部及び第4流路端部を有する第2内部流路とを有し、

前記円筒状回転部材は、前記円筒状外側部材に対する該円筒状回転部材の回転角度が第1角度であるときに、前記第1開口部と前記第1流路端部との接続、前記第2開口部と前記第4流路端部との接続、並びに前記第3開口部と前記第2流路端部及び前記第3流路端部との接続をそれぞれ行う第1～第3接続孔を有し、前記回転角度が第2角度であるときには前記第1～第3開口部を閉塞することを特徴とする三方活栓。

【請求項2】

前記第3開口部は、前記第1内部流路の第2流路端部に対峙する第1流路側開口部と、前記第2内部流路の第3流路端部に対峙する第2流路側開口部とで構成され、

前記第3接続孔は、前記円筒状回転部材の回転角度が前記第1角度であるときに前記第1流路側開口部に接続する第1流路側接続孔と、前記第2流路側開口部に接続する第2流路側接続孔とで構成されることを特徴とする請求項1に記載の三方活栓。

【請求項3】

前記第1内部流路は、前記第1流路端部から前記円柱状中央部材の径方向内方に進み、

曲折して径方向外方に進んで前記第2流路端部に達するL字状の流路で構成され、

前記第2内部流路は、前記第4流路端部から前記円柱状中央部材の径方向内方に進み、
曲折して径方向外方に進んで前記第3流路端部に達するL字状の流路で構成され、

前記第2流路端部と前記第3流路端部とは、前記円柱状中央部材に設けられた連通部を
経て相互に通じており、

前記円筒状回転部材の回転角度が第3角度であるとき、前記第1接続孔及び前記第2接
続孔は、それぞれ前記第2開口部と前記第4流路端部との接続及び前記第1開口部と前記
第1流路端部との接続を行うものであることを特徴とする請求項1又は2に記載の三方活栓。

【請求項4】

前記第1内部流路及び前記第2内部流路は、前記円柱状中央部材の外周面に設けられた
溝状の流路により構成されることを特徴とする請求項1又は2に記載の三方活栓。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第3発明に係る三方活栓は、第1又は第2発明において、

前記第1内部流路は、前記第1流路端部から前記円柱状中央部材の径方向内方に進み、
曲折して径方向外方に進んで前記第2流路端部に達するL字状の流路で構成され、

前記第2内部流路は、前記第4流路端部から前記円柱状中央部材の径方向内方に進み、
曲折して径方向外方に進んで前記第3流路端部に達するL字状の流路で構成され、

前記第2流路端部と前記第3流路端部とは、前記円柱状中央部材に設けられた連通部を
経て相互に通じており、

前記円筒状回転部材の回転角度が第3角度であるとき、前記第1接続孔及び前記第2接
続孔は、それぞれ前記第2開口部と前記第4流路端部との接続及び前記第1開口部と前記
第1流路端部との接続を行うものであることを特徴とする。